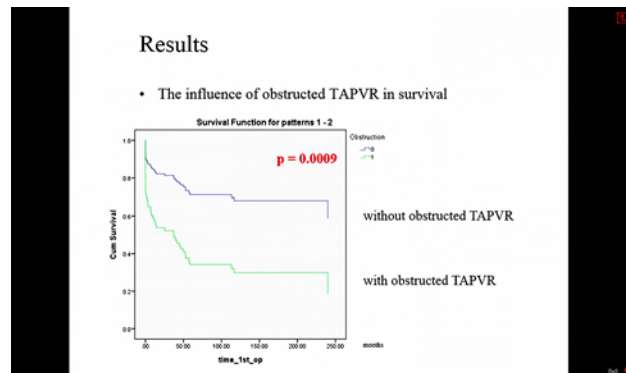
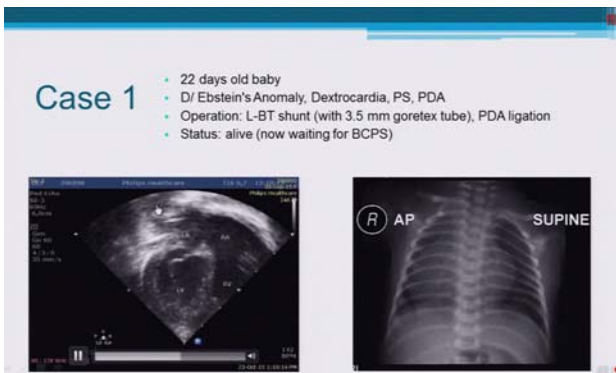


<p>【イベント名】 アジア新生児医学シンポジウム</p>	<p>【概要】 新生児期から適切な治療をおこなわなければ救命できない複雑心奇形の外科治療の手術時期をテーマにしたシンポジウム。アジアの国々（インドネシア・マレーシア・韓国・台湾・日本）のトップ小児心臓外科医による講演と討論。それぞれの国の医療事情の違いがあり問題点は様々。しかし、インドネシア・マレーシアの悩みは、日本、韓国、台湾などが過去に経験した悩みであり共有できるし協力できると思われた。</p>
<p>【期日】 2017.01.22</p>	
<p>【会場】 神奈川県立こども医療センター（日本）、 ハラパンキタ国立心臓センター（インドネシア）、 胎児クリニック（台湾）</p>	



神奈川県立こども医療センターでの会場の様子。
撮影場所：九州大学病院

ハラパンキタ国立心臓血管センターでの会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



ハラパンキタより提示された心エコーと胸写。
撮影場所：九州大学病院

胎児クリニックより提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



コメントするマレーシアのDr. Sivalingam（左）。
撮影場所：九州大学病院

モニタに映し出される3地点の様子。
撮影場所：九州大学病院